静岡県リカレント教育検討会議　議論の流れ

会議資料

静岡県リカレント教育検討会議 議論の流れ

R３年度

第１回検討会議（令和３年８月）

■本県でのリカレント教育推進

○経団連講演

○意見交換
・リカレント教育への意見

今回

第２回検討会議（令和３年11月）

■本県の産業人材に求められる知識・スキル

○企業取組紹介

○意見交換
・５年後、10年後に本県の産業人材に求められる能力
・社員に身に付けてほしい知識・スキル

第３回検討会議（令和４年２月）

■産業人材に求められる知識・スキルを習得するための人材育成手段

■本県が目指すリカレント教育の方向性

○目指す方向性
・モデルプログラムの対象
→企業規模、従業員層
・特色、内容、レベル
→既存講座との差別化
（内容例）
思考力・判断力、
管理職育成
数理データサイエンス、
オーダーメイド

✓ 方向性の提示
✓ 作業部会を設置

R４年度

第４回検討会議（令和４年）

■作業部会報告を受けた意見交換

■リカレント教育普及に向けた環境整備

○意見交換
・骨子案
・シラバス
・時間・費用負担

○周知・広報
・「リカレント教育とは」というところからの広報が必要

✓ 骨子案提示

第５回検討会議（令和４年９月）

■モデルプログラムの承認

R５年度

モデルプログラムの提供開始

作業部会（６回程度）

■検討会議で示された方向性を基に具体的なモデルプログラム骨子案を作成

○**ターゲットの明確化**
・大企業、中小企業の認識の差異

○**教員選定**
・教員へのインセンティブ

○**受講環境**
・地域差、大学のレベル
・オンラインの活用

○**時間**の確保・**費用負担**
・質の保証
・余暇時間or業務として派遣